

所 属	地域県民部 地域政策室		
担当(係)名	広域物流グループ	内 線	2331

(款)2総務費	(項)2企画開発費	(目)(5)交通対策費
(明細書事業名) 物流対策推進費 関ロジスティクス推進事業(広域物流拠点整備事業推進費)		

1 当初予算(要求)額(千円)

5,920

2 当初予算(決定)額(千円)

5,400

【財源内訳】

一般財源

(前年度 7,400)

5,400

3 事業概要

高速道路の結節点において、高速道路を降りることなく荷さばきが可能な道路一体型の広域物流ネットワーク拠点を整備し、貨物車交通の整序化と道路交通の円滑化を図るため、県と関市が一体となって関ロジスティクスの整備を図ることを目的とする。

なお、関ロジスティクスは国土交通省の「道路一体型広域物流拠点整備モデル事業」に指定されている。

4 施策の効果

東海北陸自動車道(南北軸)と東海環状自動車道(東西軸)の結節点付近に、高速交通ネットワークを活かした、空港・港湾と連携した国際物流から国内の広域配送までをカバーする効率的で低コストな物流拠点を形成することにより、以下の効果が期待される。

- ・効率的な輸配送による貨物車交通の整序化、物流コストの削減
- ・物流関連企業の集積による県内産業の活性化、雇用・税収の増大、自然環境の保全

5 要求の内容

平成15年度の協議会事業

(全体事業費) 8,880千円

(負担割合) 県2/3 関市1/3

(事業内容)

事業計画・事業の推進(協議会の開催)

情報収集・事業PR

調査研究(インターチェンジ制度・システム研究)

関ロジスティクスの魅力を高め入居事業者の進出インセンティブとなる高速道路の利用料金の低減や利便性の向上を図るため、以下の研究を行う。

- ・高速道路と有料道路との一体的運用による利用料金低減策の検討
- ・Uターン可能なインターチェンジの検討
- ・上記制度を実現させるためのETC料金システム見直し検討
- ・上記以外の高速・有料道路利用料金面での関ロジスティクス独自のインセンティブ提示につながる支援制度・システムの検討

6 用語の解説

ロジスティクス

もともと軍事用語であり、「兵站(戦っている最前線の部隊へ物資を供給したり、必要な連絡線を確保する後方支援の役割を示す)」と訳されるが、その意味するところは、「原材料の調達から製品が顧客の手に渡るまでの過程を“ものの流れ”という視点から総合的にマネジメントする仕組み」をいう。

#### 道路一体型広域物流拠点整備モデル事業

高規格幹線道路等の沿線又はその近傍において、道路と計画的・一体的に、都市間の貨物輸送拠点としての物流施設が集約して立地する物流拠点として整備され、次の要件を備えているもの。

1. 高度に情報化・機械化されたシステムによる貨物車の積載効率向上を通じた交通量の削減
2. 大型貨物車の既成市街地への流入防止
3. 拠点内で道路情報等を提供するシステムの構築による貨物車交通の整序化
4. 物流施設の無秩序な立地を防止するための受け皿
5. 高規格幹線道路等のインタチェンジを活用した地域振興

## 7 決定内容

決定額 5,400千円

調査研究(IC制度・システム研究)については、本来ならば事業主体が負担する経費であるが、協議会と国土交通省との間で当初から研究・検討してきた経緯があることから、所要額を措置する。